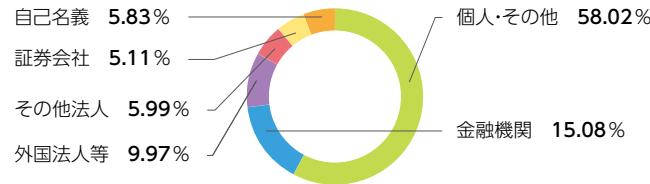


## 株式情報 (2015年9月30日現在)

### 株式情報

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	53,432,510株
株主数	19,398名

### 所有者別株式分布状況



### 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
株主確定日	● 定時株主総会、期末配当金:3月31日 ● 中間配当金:9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部 証券コード:6143
公告の方法	電子公告により行う
(公告掲載URL)	<a href="http://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html">http://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html</a>

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

### 大株主

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ソディック	3,114,648	5.82
古川 利彦	1,195,975	2.23
有限会社ティ・エフ	1,150,000	2.15
ソディック共栄持株会	970,000	1.81
日本証券金融株式会社	860,500	1.61
株式会社三井住友銀行	850,000	1.59
鈴木 正昭	742,260	1.38
株式会社北陸銀行	700,000	1.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	697,900	1.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	684,500	1.28

#### 株式に関する手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)へお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いができませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座管理機関である左記三菱UFJ信託銀行連絡先にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行、みずほ銀行、みずほ証券の各本支店でお取り扱いいたします。

#### 「単元未満株式買増、買取制度」を実施しております。

制度の利用の問い合わせについては、単元未満株式が記録されている口座によって窓口が異なります。詳細は以下の窓口までお問い合わせください。

- 単元未満株式が記録されている口座が証券会社の口座  
→ 口座開設の証券会社
- 単元未満株式が記録されている口座が特別口座  
→ 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

# Sodick times

## 2016年3月期(第40期) 中間報告書

2015年4月1日～2015年9月30日

特集

### 社長に聞く 当第2四半期の業績と中期経営計画

【連載コラム】ソディックの現場から  
【グラフでわかる】業績・財務ハイライト  
【株主コミュニケーション】ソディックラウンジ

**Sodick**  
株式会社 ソディック

〒224-8522  
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号  
TEL:045-942-3111

株式会社 ソディック

東証1部:6143

**Sodick**

# 社長に聞く 当第2四半期の 業績と中期経営計画



代表取締役社長  
金子 雄二

## Q.1 2016年3月期第2四半期の業績について教えてください。

2016年3月期第2四半期は売上高327億5百万円(前年同期比17.3%増)、営業利益31億70百万円(前年同期比120.7%増)と増収増益を達成しました。

国内では、政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要などマーケット環境を背景に好調に推移しました。海外では、欧米にて自動車・航空機関連からの需要が堅調だったほか、中国市場においても足元の需要には停滞感がみられ

るものの、スマートフォン関連向けからの受注が堅調に推移しました。上期では、全ての地域において増収となり、利益面については、生産効率の向上による原価率の低減が寄与し、営業利益は大幅な増益となりました。

## Q.2 通期の業績見通しについて教えてください。

通期の業績予想は売上高690億円、営業利益51億円を計画しています(業績予想を据え置き)。

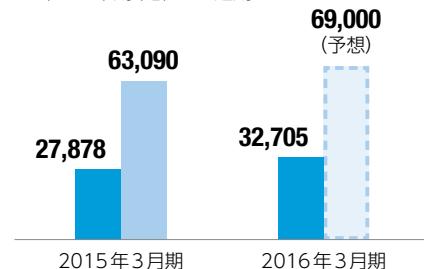
下期の見通しについては、中国及び東南アジア諸国では、景気減速の影響により設備投資需要が低迷するなど不透明な状況が続くと予想されます。厳しい経営環境下ではございますが、引き続き成長が見込まれる北米及び欧州での自動車関連・航空機関連の需要を積極的に取り

込むとともに、市場のニーズに合った製品を投入し収益力の強化を図り、通期計画を達成できるよう全力で取り組んでまいります。

### 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

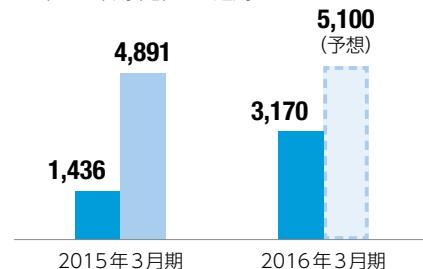
#### 売上高

■ 第2四半期累計 ■ 通期



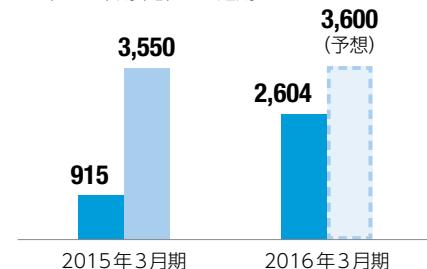
#### 営業利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期

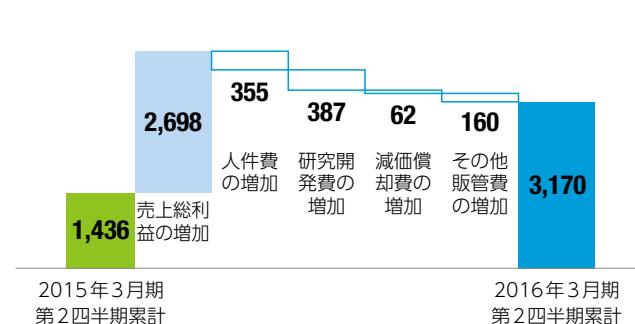


#### 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期



#### 営業利益変動要因



#### 地域別の売上高構成



### Q.3 中期経営計画の概要及び数値目標を教えてください。

既存事業の拡大を推進するとともに、継続的な業績拡大のため新たな成長ドライバーとして金属3Dプリンタ事業を育成していきます。2018年3月期売上高800億円、営業利益74億円を目指します。

新規事業（金属3Dプリンタ事業）を新たな事業の柱に成長させるとともに、既存事業を相乗的に拡大させ、2017年3月期に、売上高750億円、営業利益59億円、そして、2018年3月期までに売上高800億円、営業利益74億円を目指します。



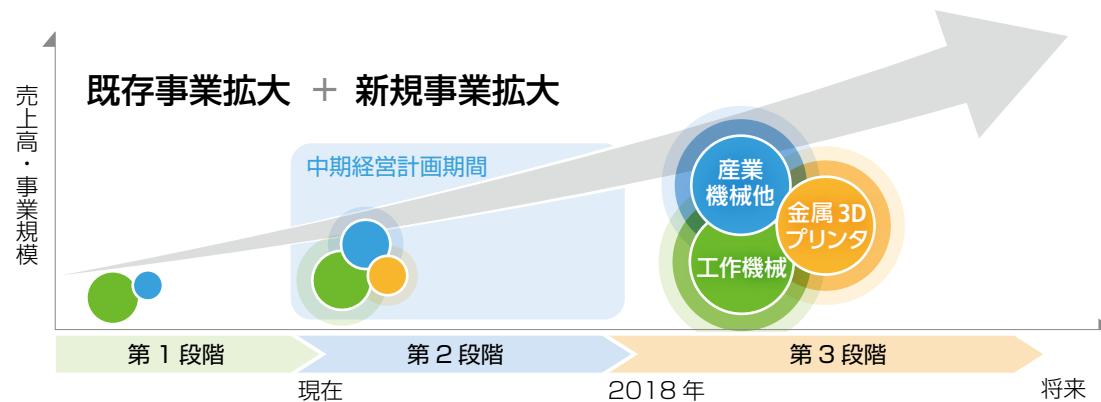
### Q.4 新規事業の育成について、具体的な戦略を教えてください。

金属3Dプリンタの研究開発を強化し、事業成長と収益力の向上を推進します。

次世代の生産技術として注目を浴びている金属3Dプリンタにおいて、加工速度・加工精度の向上、製品ラインナップの拡充、対応する金属粉の種類の実用など、研究開発に力

を入れ、販売を強化してまいります。金属3Dプリンタ事業を早期に軌道に乗せ、2018年3月期までに売上高60億円を目指します。

成長イメージ



### Q.5 既存事業拡大について、具体的な戦略について教えてください。

工作機械事業においては事業拡大と収益力の核として継続的な成長を追求。産業機械事業における海外売上高比率70%以上を目指します。

航空機需要のさらなる高まりや自動車業界の軽量化ニーズなど業界ごとの変化を素早く捉えるマーケティング網を武器に、製品のラインナップの充実を図り、地域ごとの市場動向を見据えた生産・販売体制を拡充し、事業拡大及び収益力の核である工作機械事業の継続的な成長を追求してまいります。また、産業機械事業においては、先進

国市場では炭素繊維やガラス繊維などの強化プラスチック等の新素材に対応を推進し、付加価値の高い製品の開発を強化いたします。新興国市場では低価格機種を導入を推進するなど、引き続き需要拡大が期待される海外市場を強化し、海外売上高比率70%以上を目指します。

### Q.6 配当について教えてください。

当期の配当は、1株当たり18円を予定しています(中間配当9円、期末配当9円)。

当社ではDOE(株主資本配当率)2%以上を目標とした安定的かつ継続的な配当を実施するとの基本方針に基づき、当期の中間配当は、1株につき9円とさせていただきます。期

末配当につきましては、9円(年間18円)を予定しております。株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS  
展示会

イタリア ミラノで開催された世界最大規模の工作機械見本市  
EMO MILANO 2015に出展

2015年10月5日から6日間、イタリアのミラノ市で開催された「EMO MILANO 2015」に、5台の最新鋭リニアモータ駆動マシンと関連する製品群を出展しました。リニアモータ駆動ワイヤ放電加工機のエントリーモデル「VL600Q」は世界初出展! 金属3Dプリンタもヨーロッパ初出展となり、世界の方々に当社製品を体感していただきました。



リニアモータ駆動ワイヤ放電加工機のエントリーモデル  
VL600Q 世界初出展



金属3Dプリンタ  
OPM250E  
ヨーロッパ初出展

TOPICS  
新製品

新製品 V-LINE 中型高付加価値製品用射出成形機  
「TR350EH3・TR450EH3」CO<sub>2</sub>削減を目的とした自動車の軽量化が加速する  
自動車業界をメインターゲット

2015年10月より販売開始し、10月21日から4日間、名古屋で開催された国内最大級の工作機械の見本市「メカトロテック ジャパン 2015」に出展しました。当社ブースは多くのお客様にご来場いただき、活況を呈しました。



## ソディックの現場から

今回は射出成形機の新製品について担当者からご説明します。

### ■ 「TR350EH3・TR450EH3」開発に至った背景は？

自動車業界では、燃費向上や車両の軽量化を目的として、金属部品からプラスチック部品への置き換えが加速しています。車載用大型レンズや自動車の機構部品のような複雑な肉厚深物の成形に対応するため、「TR350EH3・TR450EH3」を開発いたしました。

### ■ 従来機との違いは？

「TR350EH3・TR450EH3」は従来機に比べ、射出できる容量が大幅に拡大したことにより、複雑で肉厚深物の成形が効率的に行えるようになります。また、型開き力を向上させたことにより（従来機比6倍）、非常に複雑で肉厚深物の成形品であっても、安定した型開動作が実現できます。

### ■ ソディック製品の特徴は？

#### ① V-LINE 方式による成形

ソディック独自の可塑化と射出の工程を分けるV-LINE方式により、樹脂の熔融状態・樹脂密度が均一になり、充填量も安定するため、より高精密な成形品の製造が可能となります。また、機械の面積もインライン方式の成形機より小さくなるため、占有面積も削減できます。

#### ② 直圧型締構造

直圧型締構造を採用することにより、一般的なトル方式で生じやすい型締力の不均一や金型のずれなどの問題がなく、より正確な成形を実現できます。

射出成形機事業部 技術開発部  
高倉 茂



## 業績・財務ハイライト

当第2四半期の業績について

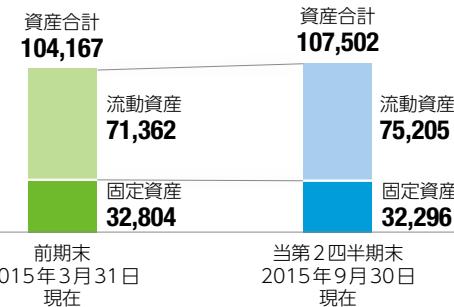
工作機械事業が全体業績をけん引し、前期比増収増益。  
工作機械事業において利益率の高い機種種の販売が好調に推移したこと、生産性向上により原価率の低減などが寄与し、売上総利益率が改善。

売上高  
**327億5百万円**  
(前年同期比 17.3% up ▲)

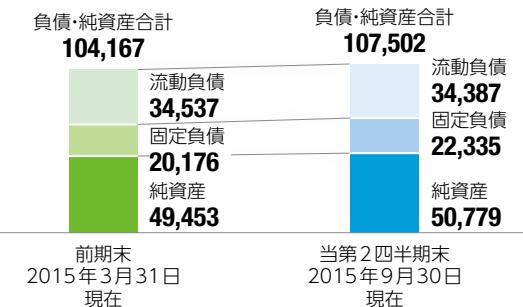
営業利益  
**31億70百万円**  
(前年同期比 120.7% up ▲)

### 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

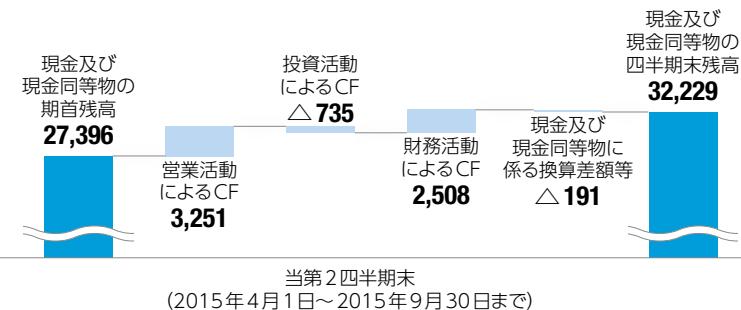
#### 資産の部



#### 負債・純資産の部



### 連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:百万円)



**POINT** B/S:長期運転資金を調達したことなどにより、手元現預金が大幅に増加(前期末比+48億28百万円)。流動比率は200%以上を維持し、安定した水準を確保しています。

**POINT** C/S:営業CFは工作機械事業の増益、食品機械事業の収益改善等により32億51百万円のプラス、また、財務CFは長期運転資金調達により25億8百万円のプラスとなり、その結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は前期末より48億33百万円増加し、322億29百万円となりました。

IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます  
[http://www.sodick.co.jp/ir/ir\\_note.html](http://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html)

ソディックIR

検索



セグメント別の概況 (単位:百万円)

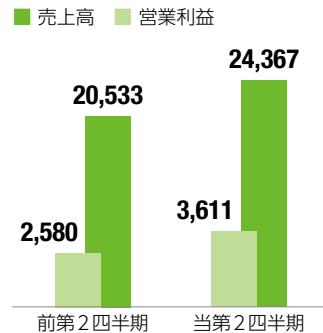


### 工作機械事業

放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ等の開発・製造・販売

自動車、航空機、スマートフォン関連からの需要が総じて堅調。

国内では、政府の補助金政策等の影響もあり、自動車関連及びスマートフォン関連が好調に推移しました。北米、欧州では自動車関連、航空機関連、医療機器関連で需要が堅調に推移しました。中華圏においては、足元の需要には停滞感が見られるものの、スマートフォン関連や車載コネクタ関連から需要が見られました。その他アジア地域では、タイやインドネシアで自動車関連向けの需要が減退し、設備投資需要は低調に推移しました。

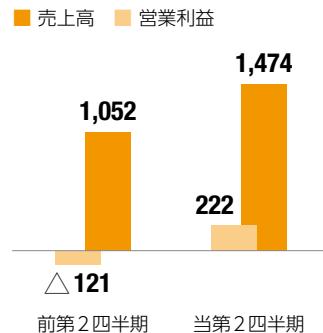


### 食品機械事業

麺製造プラント、製麺機等の食品機械の開発・製造・販売

調理麺の品質向上のための需要が増加。

国内では、コンビニエンスストアやスーパーマーケット向けの調理麺の品質向上を目的とした設備投資需要が見られました。海外においても日本食ブームの広がりにより食品機械の需要が高まっています。

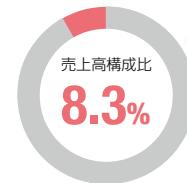
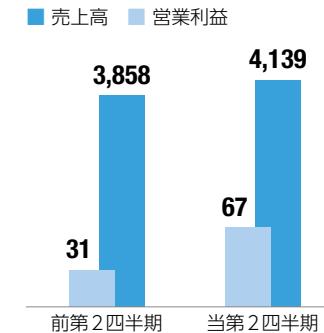


### 産業機械事業

射出成形機等の開発・製造・販売

高付加価値部品向けの需要はあるが、価格競争の影響等で売上高は伸び悩み。

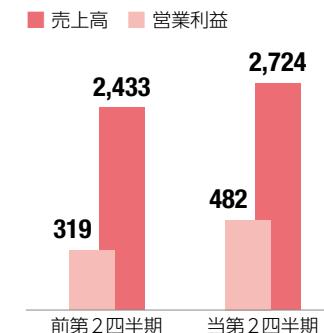
国内では自動車関連やスマートフォン関連から車載部品やスマートフォンのレンズなどの高付加価値部品向けの需要が継続しました。海外においては、中華圏を含むアジア地域で、価格競争の激化により引き続き厳しい事業環境にあります。



### その他事業

プラスチック成形品等の製造・販売、リニアモータ応用製品、セラミック製品およびその制御機器、LED照明等の開発・製造・販売、放電加工機のリース

リニアモータの外販が好調に推移しました。また、精密金型・精密成形事業も順調に推移しました。



IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます  
[http://www.sodick.co.jp/ir/ir\\_note.html](http://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html)

ソディックIR

検索





今回の株主通信よりコミュニケーションツールとして誌面を一新しました。  
今後もIRサイトの充実なども含め、わかりやすい情報開示を行い、株主、投資家の皆様とのコミュニケーションの強化を図ります。

▶ 拠点情報 / 会社情報 (2015年9月30日現在)

世界に広がる主要拠点

本社 生産拠点 開発拠点 販売・サービス拠点

- 加賀事業所
- 福井事業所
- 宮崎事業所
- 東京ショールーム
- 本社/技術・研修センター
- 英国 Sodick Europe Ltd. (U.K.)
- ドイツ Sodick Deutschland GmbH (Germany)
- タイ Sodick (Thailand) Co., Ltd.
- 中国 Sodick (H.K.) Co., Ltd.
- 中国 Shanghai Sodick Software Co., Ltd.
- 米国 Sodick America Corporation (San Jose)
- 米国 Sodick, Inc. (Chicago/NJ/L.A.)
- シンガポール Sodick Singapore Pte., Ltd.
- 台湾 Sodick (Taiwan) Co., Ltd.
- 中国 Sodick Amoy Co., Ltd.
- 中国 Suzhou Sodick Special Equipment Co., Ltd.

12月1日にIRサイトをリニューアルしました。



個人投資家ページが充実! IRサイトを是非ご活用ください。  
<http://www.sodick.co.jp/ir/>  
スマートフォンでIRサイトへ



- 「すぐわかるソディック」 NEW  
当社の事業内容、強み、成長戦略をわかりやすく掲載しています。
  - 「よくあるご質問にお応えします」 NEW  
お問い合わせの多い質問について、詳しく回答させていただいております。
- ご質問を受け付けております。  
「よくあるご質問」にないご質問は、お問い合わせフォームより送信ください。



当社の広報キャラクター「TF-1」(ティーエフ・ワン)が世界のソディックグループの紹介や、ものづくりに関する情報を提供しています。金属3Dプリンタの特集もあります。

の、ご紹介



ソディック広報キャラクター「TF-1」(ティーエフ・ワン)

会社概要

会社名 株式会社ソディック  
所在地 本社  
横浜市都筑区仲町台三丁目  
12番1号  
〒224-8522  
TEL:045-942-3111 (代表)  
設立 昭和51年8月3日  
資本金 207億7,575万6,958円  
代表者 金子 雄二  
従業員数 640人 (連結3,237人)  
連結子会社 22社

役員

代表取締役会長	古川 利彦	社外取締役	津上 健一
代表取締役社長	金子 雄二	社外取締役	栗原 俊明
代表取締役副社長	古川 健一	常勤監査役	保坂 昭夫
専務取締役(上席執行役員)	高木 圭介	常勤監査役	渡貫 雄一
専務取締役(上席執行役員)	松井 孝	監査役	長嶋 隆
専務取締役(上席執行役員)	藤川 操	監査役	山下 和人
専務取締役(上席執行役員)	佐野 定男	監査役	奥山 富夫
常務取締役(上席執行役員)	大迫 健一		
常務取締役(上席執行役員)	前島 裕史		
常務取締役(上席執行役員)	塚本 英樹		

※東京証券取引所の定める独立役員であります。